平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場会社名　株式会社 ネクシィーズ　　上場取引所　東
コード番号　4346　URL　http://www.nexyz.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　太香巳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　管理本部長　(氏名) 松井　康弘　TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	5,154	△6.1	△193	―	△195	―	△180	―
24年9月期第3四半期	5,489	△0.5	41	―	60	―	270	―

(注)包括利益　25年9月期第3四半期　△242百万円　(―%)　24年9月期第3四半期　294百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	△14.25	―
24年9月期第3四半期	21.38	―

(注)当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	7,253	4,684	29.0
24年9月期	7,824	5,181	29.6

(参考) 自己資本　25年9月期第3四半期　2,105百万円　24年9月期　2,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年9月期	―	0.00	―		
25年9月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年9月期(予想)の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600～8,200	0.8～8.7	320～500	6.2～66.0	310～480	0.8～56.0	150～240	△63.7～△41.8	11.83～18.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更をおこなっており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料6ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	13,413,640 株	24年9月期	13,413,640 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	738,220 株	24年9月期	736,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	12,677,108 株	24年9月期3Q	12,677,540 株

(注)当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する詳細は、添付資料5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……6
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……6
４．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……11
（４）セグメント情報等 ……11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による金融・財政政策、経済政策等を受け、株高が進行する中、消費者マインドに回復傾向がみられました。また、円高是正による輸出環境の改善等、一部で景気回復の兆しがみられました。しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、海外景気の下振れ懸念等もあることから、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。GDPの伸び率は、13年１月～３月に1.0%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比△0.5～0.4の間で推移し、下落局面は脱しつつあるものの、依然としてデフレ基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループではブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の３事業を展開しており、各事業の経営資源を最適配分・有効活用していくと同時に、取り扱う商材や業務の見直しにより、収益力の強化に向けた経営基盤の構築を図っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、ブロードバンド事業において、光回線の「Nexyz.BB光」の新規契約数が増加傾向にありました。ソリューションサービス事業においては、証券市場の活況を受け、金融商品仲介業務が好調に推移いたしました。その他の業務につきましては、好不調はあるものの概ね堅調に推移しております。文化教育事業においては、引き続き初学者向けのキャンペーンによる新規生徒の獲得に注力するとともに、「ハクビプレミアム倶楽部」をスタートし、既存生徒向けサービスの拡充を図ってまいりました。

これらの結果、売上高5,154百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業損失193百万円（前年同四半期営業利益41百万円）、経常損失195百万円（前年同四半期経常利益60百万円）となり、四半期純損失は180百万円（前年同四半期純利益270百万円）となりました。

当第３四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」及び会員向け付加サービスの提供を行なっております。当第３四半期連結累計期間においては、光回線の「Nexyz.BB 光」の新規契約数が増加傾向にありました。一方で、ソリューションサービス事業の業務受託テレマーケティング業務に営業人員の一部が異動しており、前年同四半期に比べて規模を縮小しての営業となりましたが、新入社員の入社により人員が増加しております。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高2,035百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント損失127百万円（前年同四半期セグメント利益38百万円）となりました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進を行っております。当第３四半期連結累計期間においては、証券市場の活況を受け、金融商品仲介業務が好調に推移したほか、業務受託テレマーケティングにおいて安定した収入が得られております。電子雑誌の制作業務では、新たに、次代を創る情熱リーダーのための電子雑誌「SUPER CEO（スーパー・シーイーオー）」、キャリア女性のマネーライフを提案する電子雑誌「美人財布（ビジンザイフ）」の２誌の電子雑誌を創刊したほか、既存の電子雑誌につきましても、掲載施設数が増加傾向にありました。DNA検査に基づく健康コンサルティング業務においては、単月黒字が継続しており、上向きに推移しております。一方で、電子雑誌の制作業務及びDNA検査に基づく健康コンサルティング業務において、組織体制の強化のため、人員を増員したことに伴い、人件費が増加しております。また、過去に獲得した「Yahoo! BB」や「おとくライン」のサービス契約者が継続利用することで得られる継続手数料が解約により自然減しております。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,643百万円（前年同四半期比12.9％増）、セグメント利益285百万円（前年同四半期比5.4％減）となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付教室等の運営を行っております。当第３四半期連結累計期間においては、「ぷらっとパスポート」「ハクビのゆかたレッスン」等、初学者向けのキャンペーンにより、新規生徒の獲得に注力してまいりました。また、きものを着て通常では体験できない特別なイベントを提供する「ハクビプレミアム倶楽部」をスタートし、既存生徒向けサービスの拡充も図ってまいりました。

これらの結果、文化教育事業は売上高1,681百万円（前年同四半期比7.3％減）、セグメント損失36百万円（前年同四半期セグメント利益45百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は7,253百万円となり、前連結会計年度末に比べて571百万円の減少となりました。

① 資産の状況

（流動資産）

流動資産は3,945百万円となり、前連結会計年度末に比べて555百万円の減少となりました。これは主に、前払費用が36百万円増加した一方で、当社連結子会社である株式会社ソニア・パートナーズ（以下、ソニア・パートナーズ）株式の追加取得による完全子会社化、投資有価証券の取得、有形・無形固定資産の取得等により現金及び預金が539百万円減少したことに加え、売掛金が23百万円減少したほか、貸倒引当金が30百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は3,308百万円となり、前連結会計年度末に比べて16百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が48百万円増加した一方で、有形固定資産が44百万円、敷金及び保証金が18百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

（流動負債）

流動負債は2,507百万円となり、前連結会計年度末に比べて66百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が25百万円増加した一方で、解約調整引当金が41百万円、未払金が26百万円、未払消費税が21百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は60百万円となり、前連結会計年度末に比べて８百万円の減少となりました。これは主に、長期リース債務が５百万円増加した一方で、長期借入金が14百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は4,684百万円となり、前連結会計年度末に比べて496百万円の減少となりました。主な内訳は、四半期純損失を計上したこと等により、株主資本が237百万円減少したことに加え、ソニア・パートナーズ株式を追加取得により完全子会社化したことや、少数株主損失の計上等により少数株主持分が288百万円減少したことによるものであります。

以上により流動比率は157.3％となり前連結会計年度末比17.6ポイント低下いたしました。株主資本比率は29.0％となり前連結会計年度末比0.6ポイント低下いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は52.6％となり前連結会計年度末比21.7ポイント増加いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の業績予想につきましては、平成24年11月15日に公表いたしました「平成24年９月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。なお、今後の各事業の取り組み、業績予想については、以下のとおりであります。

［ブロードバンド事業］

ブロードバンド事業においては、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供、加入希望者獲得に引き続き注力してまいります。当社の強みであるテレマーケティングによる対話型の営業を活かして、お客様のニーズに合わせて高速通信サービスからDSL回線まで、幅広く提案を行ってまいります。新入社員の入社による一時的な人件費の先行があるものの、第４四半期は増員効果により業績が好調に推移する見込みであります。

［ソリューションサービス事業］

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進支援を行っております。

電子雑誌業務においては、広告の獲得やクライアントと提携して発刊する電子雑誌制作業務が順調に推移しております。インターネットやテレマーケティングを活用した販売促進支援業務においては、幅広い企業から安定的に案件を受注しております。金融商品仲介業においては、証券市場の活況にともない、証券仲介手数料が当初の想定を上回る勢いで推移しております。また、DNA検査に基づく健康コンサルティング業務においては、提携するエステサロン店舗数が着実に増加しております。そのため、ソリューション事業全体で引き続き、さらに好調に推移することが見込まれます。

［文化教育事業］

文化教育事業では、きもの着付け教室の運営による毎月の授業料収入と、季節や時期に応じたイベントや展示会による臨時的な収入が見込まれます。展示会等の催事は例年通り主に7月～9月に集中して実施する予定であり、収益の大半が集中することが見込まれます。

そのほか、平成25年９月期の配当予想につきましては、平成25年５月14日に公表のとおり、期末で復配（1株当たり５円）をさせていただく予定としております。

次期の業績予想につきましては従来の開示方法とは異なり、今回から上限と下限を設けた開示を行っております。これはこれまでの事業の多角化から、事業の集中に変化していくことによるものであります。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

平成25年９月期　通期業績見通し（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

売上高	7,600百万円～8,200百万円
営業利益	320百万円～500百万円
経常利益	310百万円～480百万円
当期純利益	150百万円～240百万円

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,291,933	1,751,933
売掛金	1,281,869	1,257,992
商品	105,795	114,127
未収入金	498,869	491,661
その他	353,442	391,124
貸倒引当金	△31,518	△61,824
流動資産合計	4,500,392	3,945,014
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	161,477	239,693
その他（純額）	309,957	186,996
有形固定資産合計	471,434	426,690
無形固定資産		
のれん	122,150	116,625
その他	184,162	179,575
無形固定資産合計	306,312	296,200
投資その他の資産		
投資有価証券	1,845,442	1,894,021
敷金及び保証金	372,595	354,527
その他	408,986	417,265
貸倒引当金	△80,264	△80,514
投資その他の資産合計	2,546,760	2,585,300
固定資産合計	3,324,507	3,308,191
資産合計	7,824,899	7,253,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,596	326,505
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払金	545,092	518,810
解約調整引当金	85,607	44,043
その他	342,250	318,165
流動負債合計	2,573,546	2,507,524
固定負債		
その他	69,432	60,710
固定負債合計	69,432	60,710
負債合計	2,642,979	2,568,234

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	1,134,423	1,134,423
利益剰余金	353,587	116,570
自己株式	△339,926	△340,230
株主資本合計	2,337,241	2,099,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,412	5,942
その他の包括利益累計額合計	△23,412	5,942
新株予約権	398	368
少数株主持分	2,867,691	2,578,739
純資産合計	5,181,920	4,684,971
負債純資産合計	7,824,899	7,253,206

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年10月１日 至 平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	5,489,883	5,154,097
売上原価	3,278,167	3,198,932
売上総利益	2,211,715	1,955,165
販売費及び一般管理費	2,170,545	2,148,347
営業利益又は営業損失（△）	41,170	△193,182
営業外収益		
受取利息	2,565	1,792
受取配当金	125	4,401
持分法による投資利益	672	7,460
投資事業組合運用益	6,681	－
その他	13,258	6,531
営業外収益合計	23,302	20,186
営業外費用		
支払利息	4,227	2,450
投資事業組合運用損	－	19,462
その他	207	838
営業外費用合計	4,435	22,751
経常利益又は経常損失（△）	60,037	△195,747
特別利益		
関係会社株式売却益	465,348	－
その他	2	－
特別利益合計	465,351	－
特別損失		
固定資産除却損	8,695	9,773
和解金	15,000	－
その他	1,072	1,258
特別損失合計	24,767	11,031
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	500,620	△206,778
法人税、住民税及び事業税	34,998	40,767
法人税等調整額	171,828	－
法人税等合計	206,826	40,767
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	293,793	△247,545
少数株主利益又は少数株主損失（△）	22,797	△66,836
四半期純利益又は四半期純損失（△）	270,996	△180,709

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	293,793	△247,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,115	5,378
その他の包括利益合計	1,115	5,378
四半期包括利益	294,908	△242,167
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,111	△175,330
少数株主に係る四半期包括利益	22,797	△66,836

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ブロードバンド事業	ソリューションサービス事業	文化教育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,263,474	1,428,618	1,797,790	5,489,883	―	5,489,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,629	27,135	15,916	54,682	△54,682	―
計	2,275,104	1,455,753	1,813,707	5,544,565	△54,682	5,489,883
セグメント利益	38,697	302,165	45,005	385,868	△344,698	41,170

（注）１．セグメント利益の調整額△344,698千円には、セグメント間取引消去2,444千円、各報告セグメントに配分していない全社収益173,052千円、全社費用△511,871千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△8,325千円が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成24年10月１日 至 平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ブロードバンド事業	ソリューションサービス事業	文化教育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,023,853	1,449,466	1,680,778	5,154,097	―	5,154,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,584	194,274	473	206,332	△206,332	―
計	2,035,437	1,643,740	1,681,252	5,360,430	△206,332	5,154,097
セグメント利益又は損失(△)	△127,359	285,711	△36,207	122,144	△315,326	△193,182

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△315,326千円には、セグメント間取引消去1,014千円、各報告セグメントに配分していない全社収益184,397千円、全社費用△495,199千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△5,538千円が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。